

(別紙4(2))

事業所名 すこやかほ～む有住

作成日: 平成 27年 03月 04日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 20	食事や入浴の実施形態や方法について、今までの慣習や決まりごとに縛られていて入居者本位の部分から外れていないか。	職員それぞれが既成概念や固定観念に縛られず柔軟な考え方や姿勢で一致団結し、主体性を持ってホームづくりに携わっていく。	職員のやりやすさや都合を優先して業務が進められないように、業務のあり方や考え方を見直し、話し合いながら、より良い利用者の快適な生活に結びつけていく。	12ヶ月
2	15	重度化・高齢化にある状況において、個々のケースに応じた柔軟な対応ができていないか。	重度化・高齢化するということは、それだけ長くこのホームで暮らしてこられたことを理解し、職員もプライドややりがいを持って、職員個々の利用者への「思い」を、適切なケアに反映して支援していく。それを利用者や家族の安心や満足に繋げていく。	実例を通じて職員のスキルを高め、医療者や家族と相談・連携しながら可能な限りホームで生活できるような方法や手段を検討し、細分化されたケアまでを、意識を共有し、同じ方向を向いてチームで実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。